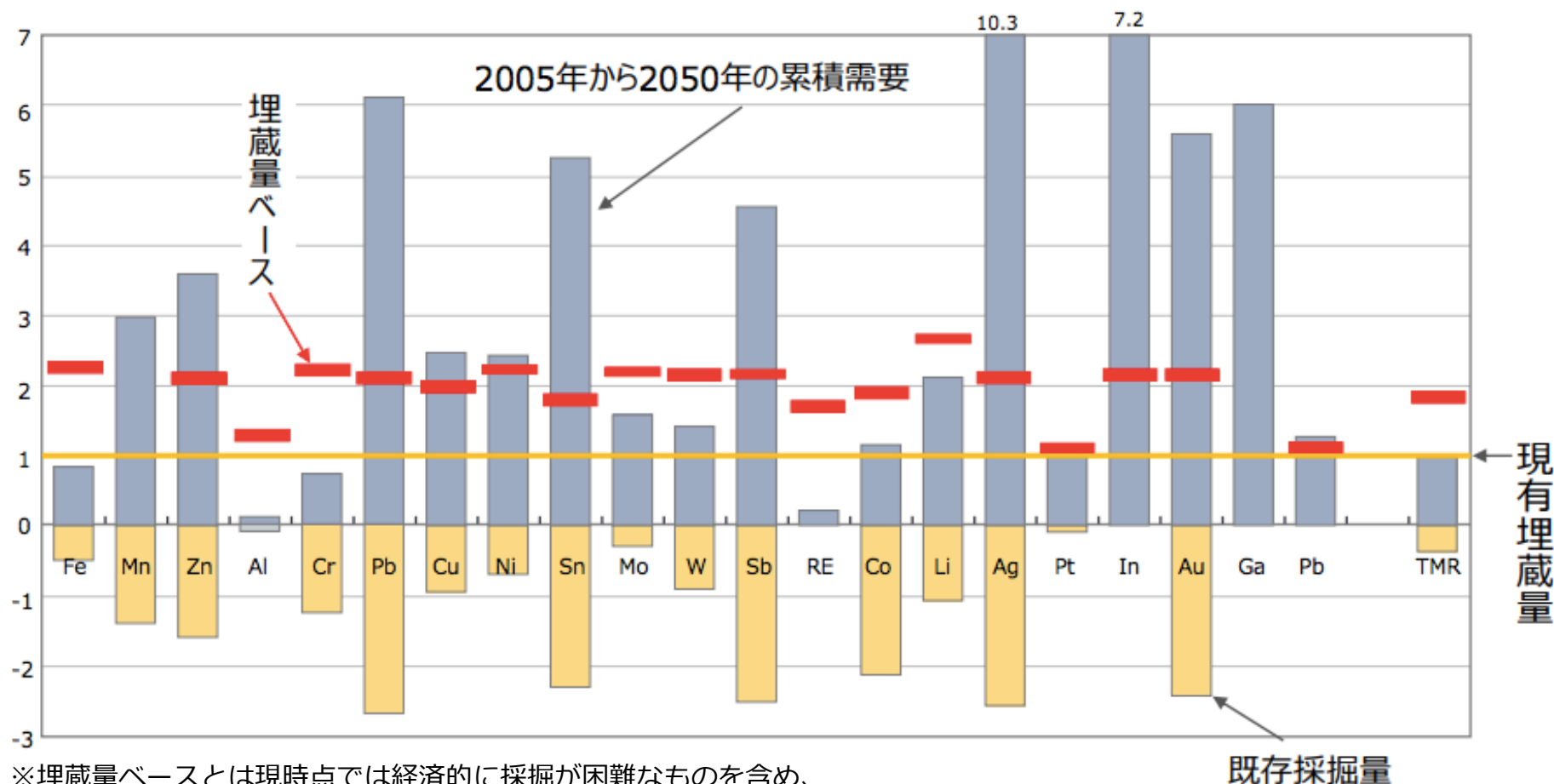


ジャパンSDGs静脈産業フォーラム セッション1

会宝産業株式会社
代表取締役会長 近藤典彦

枯渇する資源：2050年までの消費量に地球は耐えられない

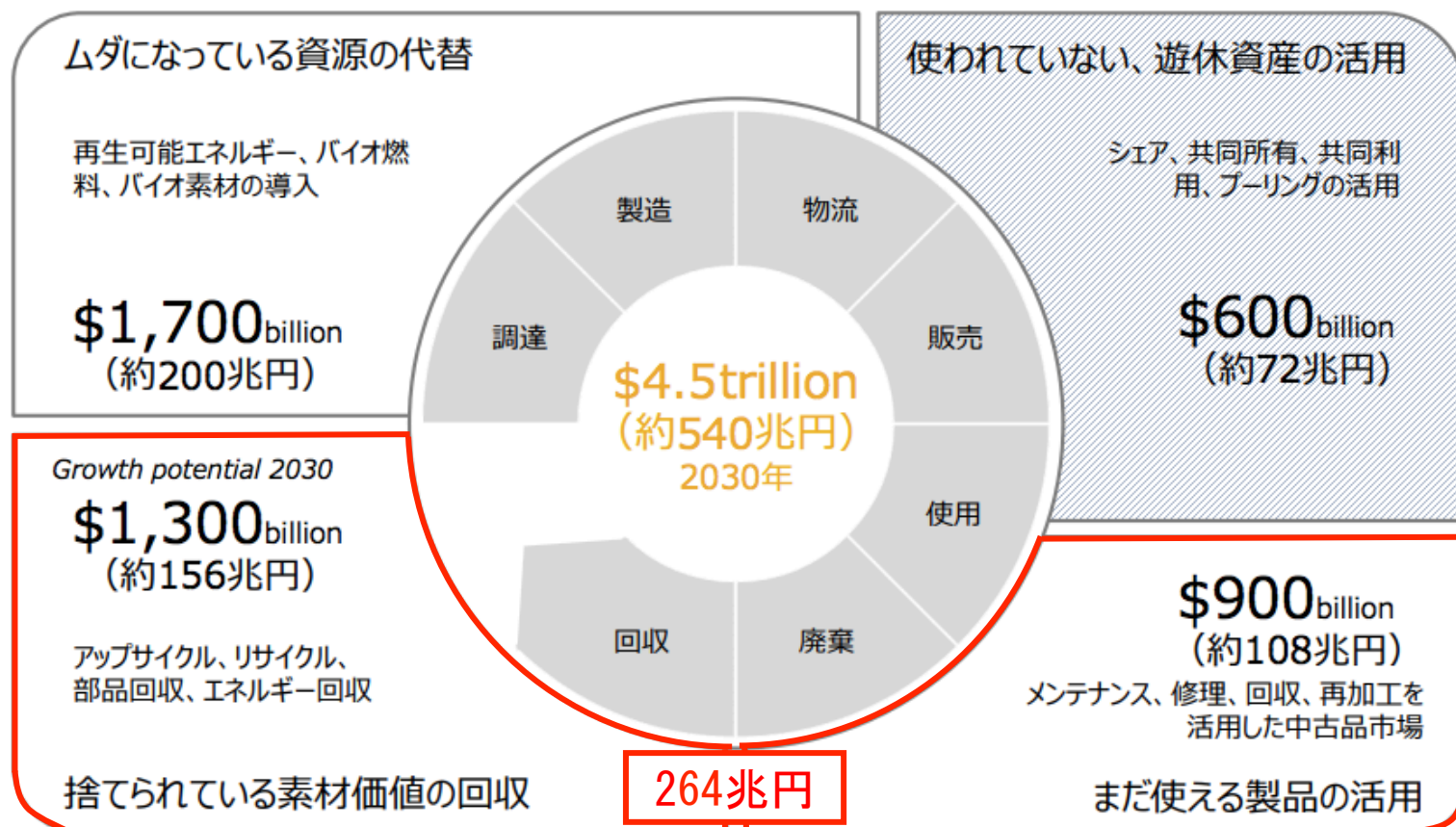
- 鉄、タングステン、コバルト、白金、パラジウム等は現有埋蔵量をほぼ使い切る
- マンガン、ニッケル、リチウム等は、現有埋蔵量の倍以上の使用量となる
- 亜鉛、鉛、銅、スズ、金、銀は埋蔵量ベース※をも超える



※埋蔵量ベースとは現時点では経済的に採掘が困難なものを含め、現時点で確認されている鉱物資源量のこと

静脈産業の重要性

- 消費された資源を回収・再生・再利用することによって経済成長を実現する経済モデル、サーキュラーエコノミーが着目されている



出典：アクセンチュア「経済産業省 平成27年度地球温暖化問題等対策調査 IoT活用による資源循環政策・関連産業の高度化・効率化基礎調査事業 - 調査報告書 -」

日本の新輸出戦略

1

中古品の評価規格のグローバルスタンダード作り

中古エンジンの性能評価規格PAS777を発展させ日本発の中古品の国際規格を作る。

中古品の国際規格

日本の新輸出戦略

2

静脈産業（環境・リサイクル技術、制度）の輸出

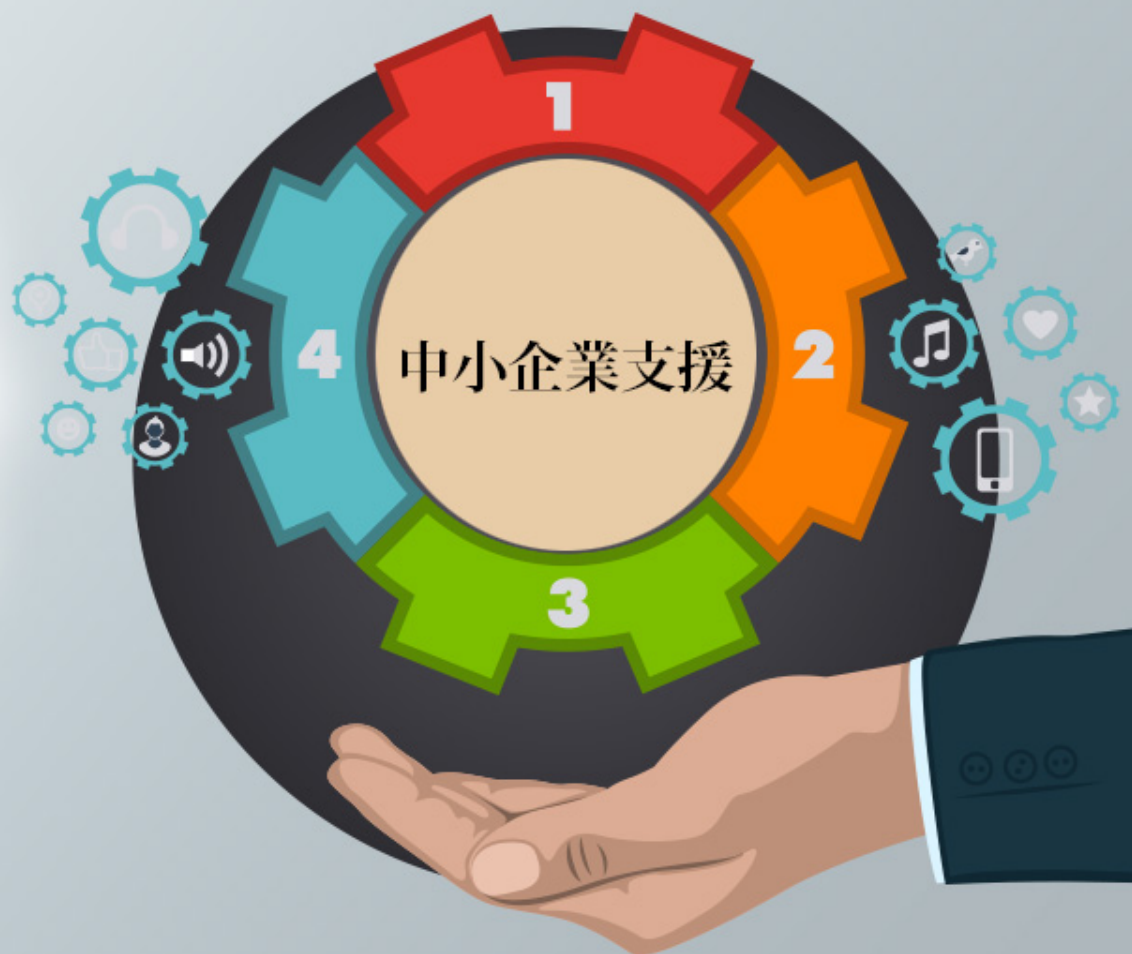
自動車リサイクル事業を
はじめとした静脈産業を
制度と技術をパッケージ
にして輸出する。

静脈産業

日本の新輸出戦略

中小企業の優れた技術、製品の輸出支援

世に知られていない中小企業の優れた技術、製品を発掘し、海外にPR、輸出支援し、グローバルニッチ市場で世界をリードする。



日本の新輸出戦略

4

日本人の優れた精神（和の心、利他の精神）の輸出

技術、制度、モノ、文化の輸出の中に、和の心、利他の精神を乗せて輸出することで、世界平和を実現する。



J A P A N

循環型社会の完成形

環

成

経

環境の保全、修復につながる
ビジネス（グリーンビジネス）で
経済を成長させていく

日本各地の中堅・中小規模の企業が協働することで
多種多様なグリーンビジネスを生み出し、地域から
日本を元気にしていきます。